

平成25年4月10日

新東名(静岡県)インパクト調整会議

国土交通省中部地方整備局
NEXCO中日本東京支社
静岡県岡部市
静岡県岡部市
浜松市

『新東名高速道路(御殿場JCT～三ヶ日JCT間) 開通から1年』

新東名開通により県内道路全体の満足度が向上

～県内道路の使われ方の変化により、県内企業の満足度が約5割から約8割に上昇～

新東名高速道路の静岡県内区間のうち、御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの約162kmが、平成25年4月14日(日)で開通から1年を迎えます。

このたび、「新東名(静岡県)インパクト調整会議」(会長:国土交通省中部地方整備局道路部長)において、静岡県内における交通の変化及び整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

＜ポイント＞

- 新東名開通後の県内道路を利用する企業へのアンケート結果より、県内企業の県内道路全体に対する満足度が、約5割から約8割に上昇しました。
- 新東名の開通により県内主要渡河断面での高速道路の交通量は7～8千台/日増加しましたが、断面交通量に大きな変化はなく、道路の使われ方に変化が現れてきています。
 - ① 静岡中心部の安倍川断面では、規格の高い新東名の大型車混入率が最も高く、東名、国道1号バイパス、国道1号、その他道路の規格順に低下しています。
 - ② 国道1号バイパスでは、大型車の県外ナンバーの割合が昼間5ポイント、夜間7ポイント減少しました。
 - ③ 新東名の開通により、東名の日々の所要時間のばらつきが、23分から12分に(2分の1に)減少、さらにGWやお盆には、76分から22分に(3分の1に)減少し、定時性が大幅に向上しました。

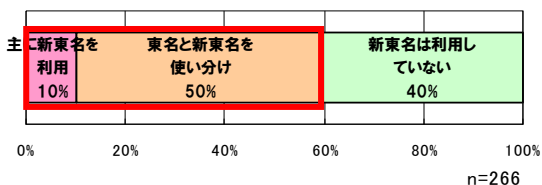
同時発表 (資料配付)	中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会、 静岡市政記者室、浜松市政記者クラブ、沼津記者会、 豊橋市政記者クラブ、新城市政記者クラブ、飯田市役所記者クラブ
お問い合わせ先	国土交通省 中部地方整備局 道路部 地域道路課 課長 棚橋 真澄 建設専門官 宮本 久仁彦 TEL 052-953-8170 (直通)

1. 静岡県内の道路利用企業におけるアンケート結果について

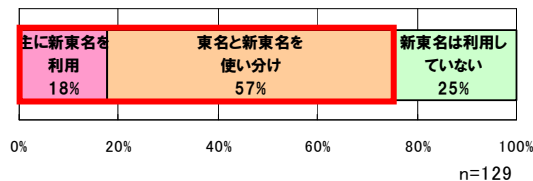
- ・ 製造品等の運搬系企業は約6割が新東名を利用、営業系企業は、約8割が利用し、東名と使い分けがどちらの業態ともに約5割以上となっています。
- ・ 道路に関する満足度は、開通前の調査結果に比べ県内・県外企業とも大きく向上しました。（県内企業：約5割→約8割、県外企業：約6割→7割）

■業態別の新東名の利用について

製造品等の運搬系企業

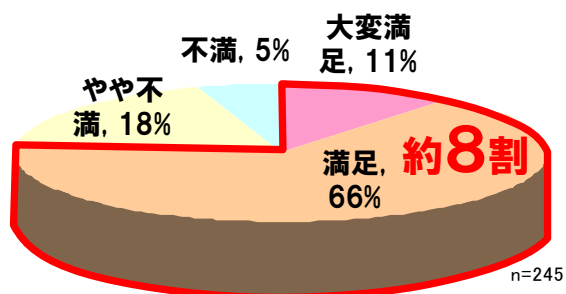


営業系企業

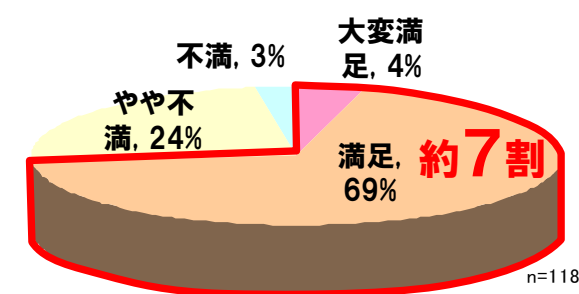


■静岡県内外別の満足度

県内企業

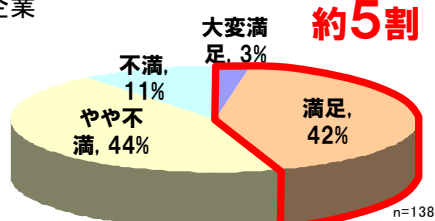


県外企業

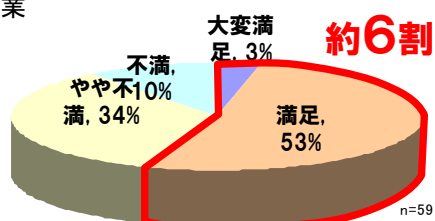


開通前の満足度結果

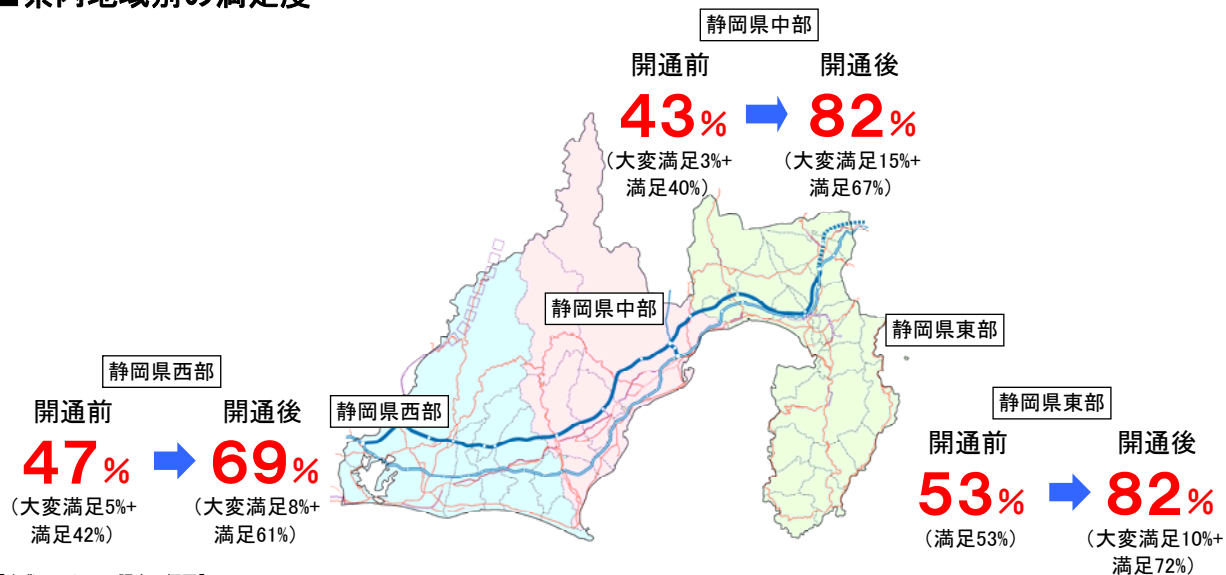
県内企業



県外企業



■県内地域別の満足度



【企業アンケート調査の概要】

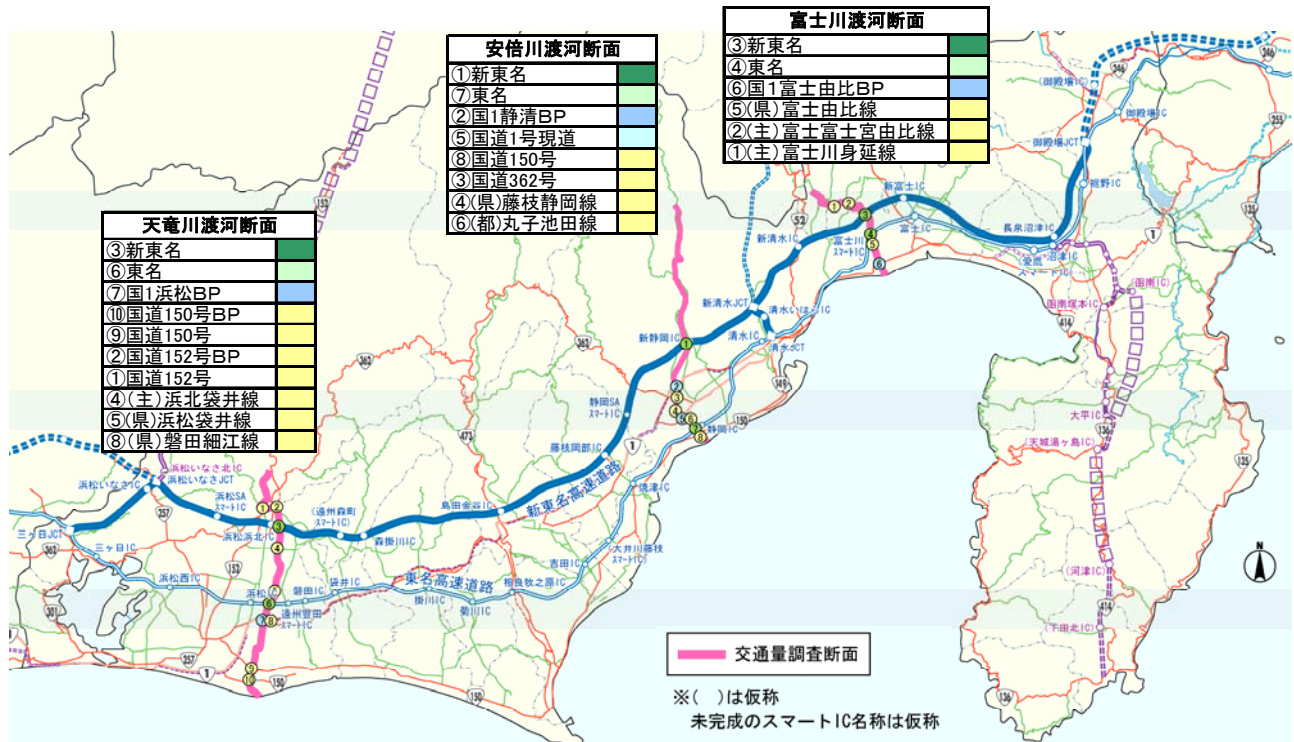
国土交通省中部地方整備局が、静岡県、愛知県、神奈川県、東京都、その他の企業（1,235社）に郵送式のアンケート調査を実施（平成24年10月中旬～11月12日締め切り）。

回収は、480社（県内286社、県外168社 不明26社）、回収率39%。

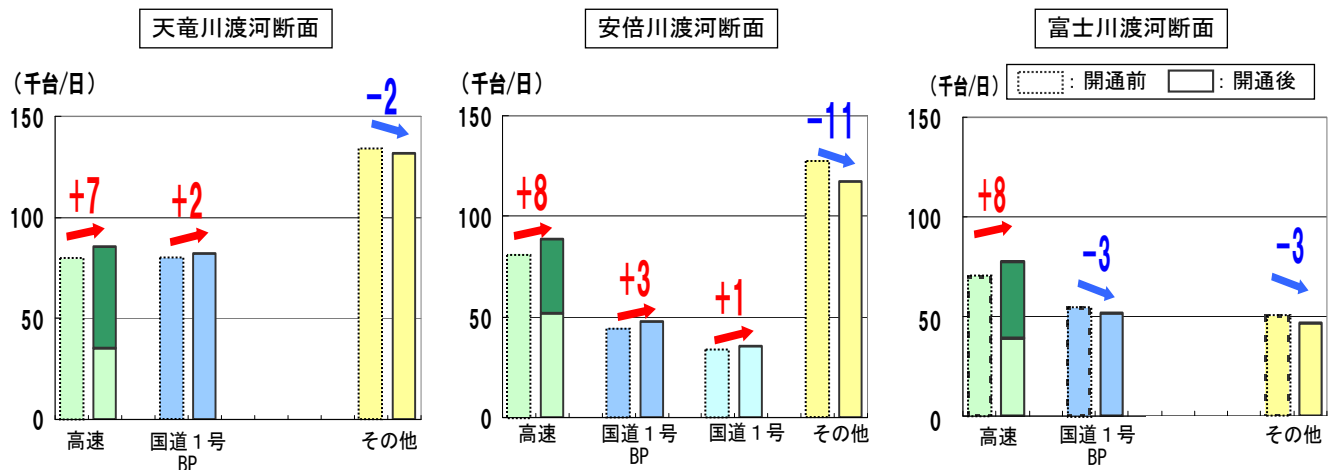
2. 静岡県内の断面交通量の変化

- ・ 新東名開通により県内主要断面での高速道路の交通量は7～8千台増加しました。
- ・ 断面交通量に大きな変化はなく、道路の使われ方に変化として、高速道路の利用が増加し、その他道路の利用が減少傾向となっています。

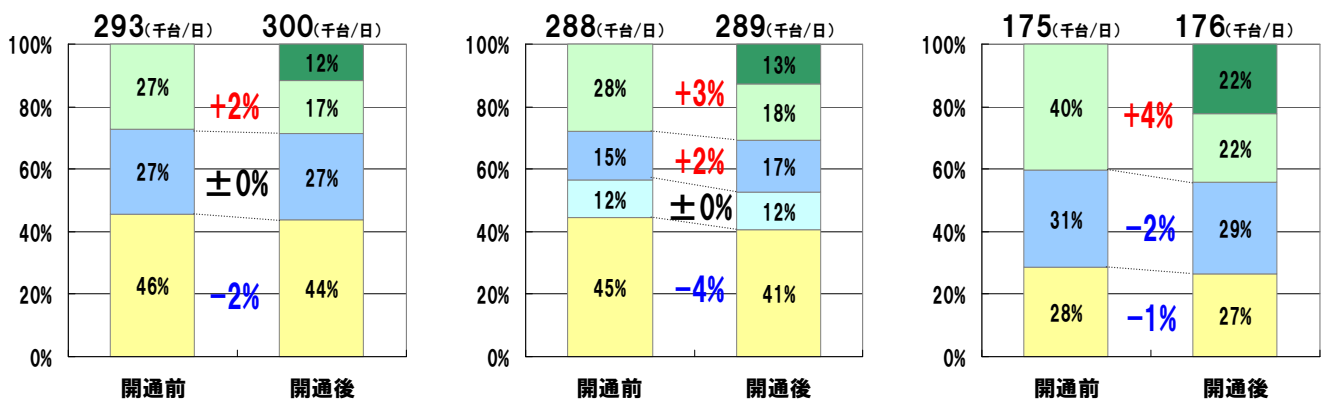
■断面交通量と路線分担比について



□断面交通量



□路線分担比



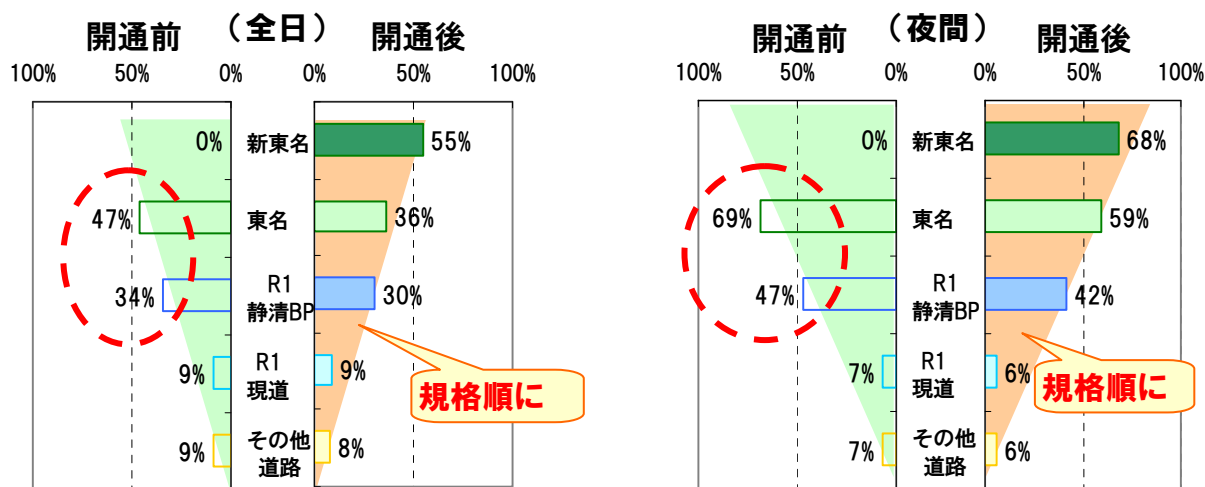
出典：国土交通省交通量計測データ
開通前：平成23年11月15日（火）
開通後：平成24年10月25日（木）

- ・ 静岡中心部の安倍川断面では、規格の高い新東名の大型車混入率が最も高く、東名、国道1号バイパス、国道1号、その他道路の規格順に低下しています。
- ・ 国道1号バイパスでは、大型車の県外ナンバーの割合が昼間5ポイント、夜間7ポイント減少しました。

■安倍川断面における大型車混入率と通過車籍の変化について

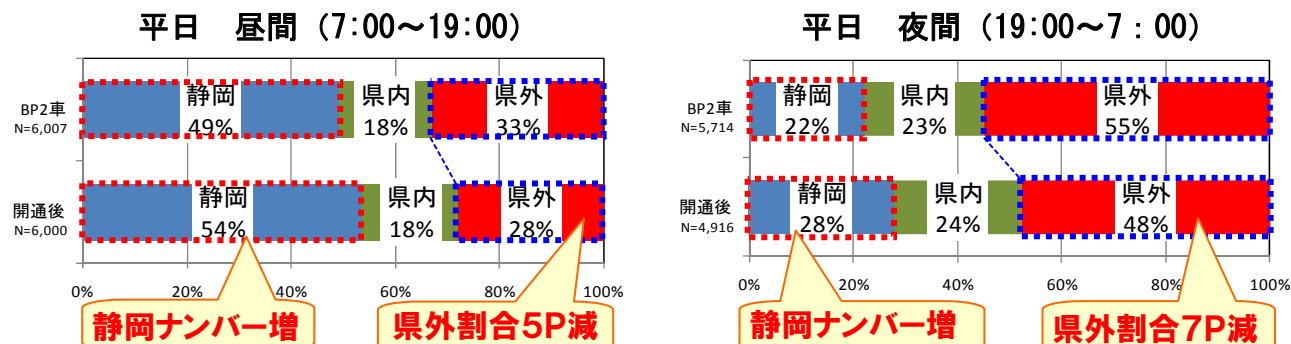


□大型車混入率（安倍川断面部）



出典：国土交通省交通量計測データ
 開通前：平成23年11月15日（火）
 開通後：平成24年10月25日（木）

□静岡バイパス（断面①部）



※静岡バイパス唐瀬～羽島間4車化：平成24年2月14日（火）、新東名開通：平成24年4月14日（土）

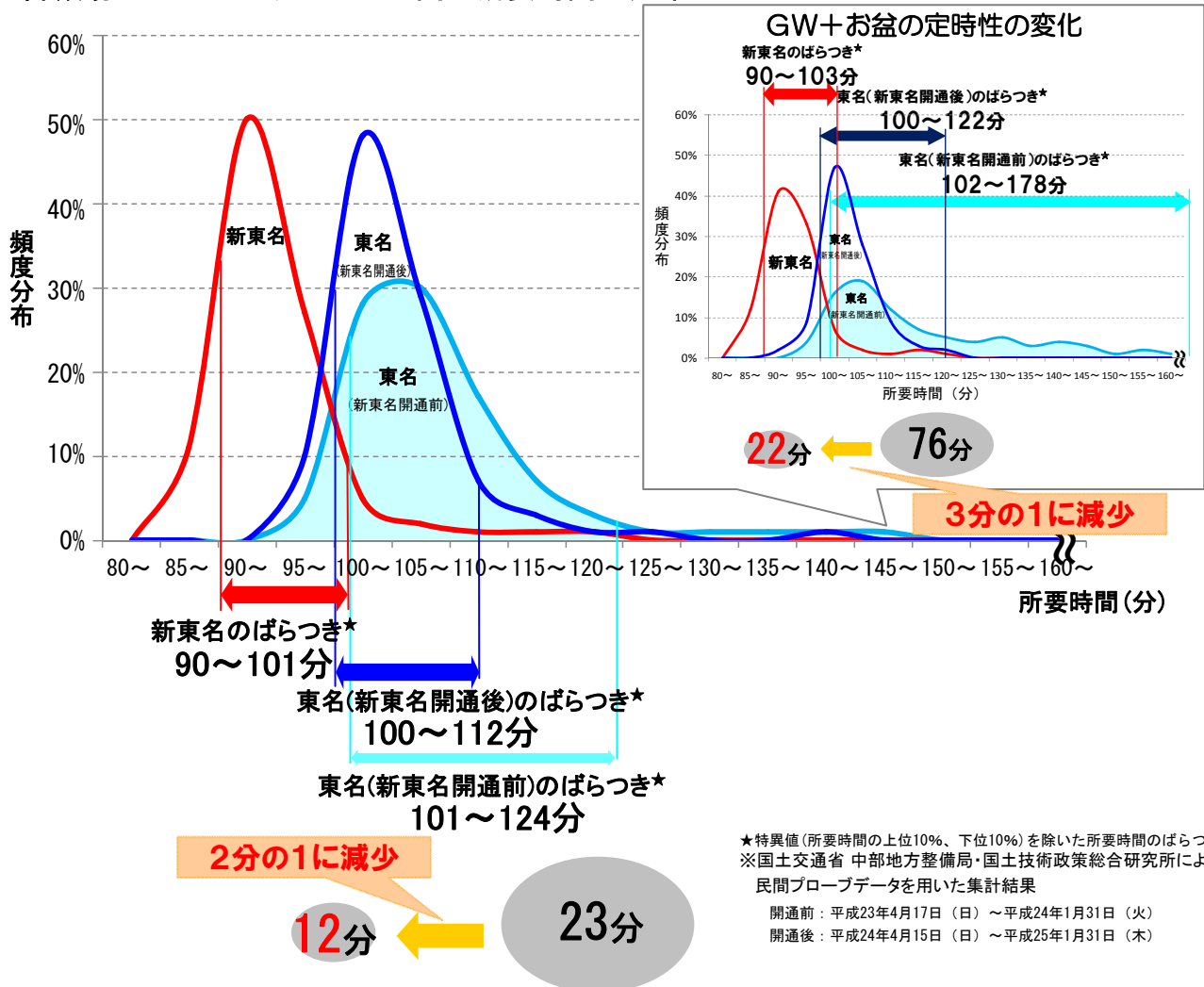
調査日 BP2車：平日 平成23年 2月17日（木）/ 休日 平成23年 2月20日（日）

開通後：平日 平成24年10月25日（木）/ 休日 平成24年10月21日（日）

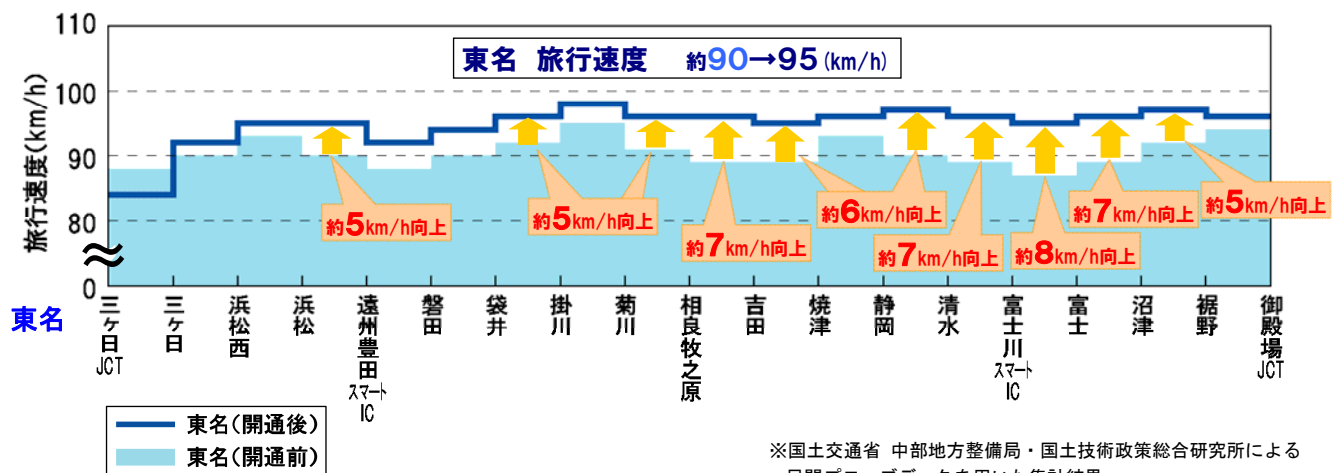
3. 新東名・東名の所要時間に関する定時性

- ・ 新東名は全区間一定の速度（100km/h程度）で走行でき、東名も90km/hから95km/hに速度が向上しました。
- ・ 新東名の開通により、東名の日々の所要時間のばらつき（上位・下位10%を除いた所要時間幅）が、23分から12分に（2分の1に）減少、さらにGWやお盆には、76分から22分に（3分の1に）減少し、定時性が大幅に向上しました。

■御殿場JCT～三ヶ日JCT間の所要時間の分布



■東名のIC間旅行速度



※国土交通省 中部地方整備局・国土技術政策総合研究所による民間プローブデータを用いた集計結果
 開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年1月31日(火)
 開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年1月31日(木)